



インフルエンザとの闘い

校長 中基 信夫

2月に入った途端、臼井中はインフルエンザ B 型の猛威に襲われました。先に学区の小学校が学級閉鎖に追い込まれると、弟妹から移ってしまった生徒が出現しました。あるいは塾などで他校の生徒から移ってしまった者もいるようです。

いずれにしても臼井中も学級閉鎖に追い込まれる寸前まで休んだ生徒が急増しました。朝・放課後の部活動を中止にしたり、学級によっては給食を食べて午後の授業を取りやめて下校させたりと、一日ごとに激変する欠席状況をにらみながらの対応をとってきました。

中旬からは日に日に欠席生徒も回復し、部活動も平常通りにできるようになりました。その間、担任の先生は生徒が登校する前に教室の机やドアの取っ手を毎朝消毒していました。頭が下がります。

不思議なことに3年生はほとんどインフルエンザにならず、また先生方も一人も感染しませんでした。“病は気から”という言葉は本当なのかもしれません。



1/23 の降雪